

キラリ★卒業生！ No.4

佐賀県立高志館高校進路指導部 R3.7.7

牛津製薬株式会社に勤務する北島愛菜さん(左)、株式会社 JA フーズさが(佐賀チキンフーズ工場)に勤務する岩永彩香さん、鶴田桃花さん(右)が訪問してくれました。3人は、平成30年度園芸科学科を卒業生し、社会人3年目を迎えました。



高校時代、何事にも真面目に取り組んだ3人。仕事を通してさらに成長している姿に頼もしさを感じました！

Q1. 現在の仕事内容について教えてください。

北島さん:入社後は製造をしていましたが、現在は品質管理を行う試験研究室という部署にいます。数値を間違えないように、先輩方を見て覚えるようにしています。専門的な知識が必要なため、教えていただいたことはしっかりメモを取って、自宅で調べたり勉強したりもしています。

岩永さん:私たちが勤務する工場のラインは加工班と包装班に分かれており、私は現在、加工班です。鶏肉を切り身にしてフリーザーで急速冷凍し、包装、計量、シール貼り、箱詰めなどの工程があります。

鶴田さん:フリーザーはマイナス40度、体力がいります！

Q2. 実際に働いてみてどうですか？

北島さん:製造にいたときは毎日が体力勝負でした。仕事には慣れも必要です。今はお客様に商品を渡す責任がありますから、小さなミスも見逃さないように心がけています。周りは理系の先輩方が多い中で、最初は気後れすることもありましたが、一度聞いたことは絶対に忘れないようにしています。

鶴田さん:応募前職場見学や新入社員の頃にはわからなかったことがたくさんあります。例えば、一日どれくらいの商品を製造するのかを計算して袋やケース数を判断し、どのタイミングで休憩を入れるかなど、入社3年目くらいになると全体を見て考える力が求められます。

岩永さん:働いている年齢層も様々なので、どんな人ともコミュニケーションをとることが大事だと思います。お客様からのクレームに対して、今後の改善策を考えることも必要だと感じています。

Q3. 在校生にアドバイスをお願いします。

北島さん:何事も1発で覚えること!私は小さなノートを必ず持ち歩くようにしていて、先輩から教えていただいたことや、その日わからなかったことは必ずメモをとるようにしています。同じことを何度も聞くと、相手の時間も無駄にしてしまうので記録することは大事です。

岩永さん:新人のうちにわからないことは必ず聞くことです。わからないことをそのままにしておいて後で困るのは自分ですから。

鶴田さん:卒業生が先輩として職場にいることもあります。仕事で悩んだときに相談できる相手を見つけることも大事です。

Q4. 今後の目標は?

北島さん:今、先輩と食品表示の検定を受けようと勉強中です。帰宅後に勉強するのは大変ですが、努力して業務に必要な資格を取っていきたいと思います。

岩永さん:今後は班長など、管理的な業務をすることも増えてくると思います。新人社員の教育や製造変更の対応などは大変ですが、若いうちにこのような経験ができるのは励みになります。

鶴田さん:これからもこの工場で働いていきたいと思っています。3年たってようやく仕事を覚えて要領もつかんできたので、これからはスピードも重視しながら周りを見て動ける社員になっていきたいです。